

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

～大きな夢 力いっぱい～「夢と希望をもち 豊かな心でたくましく生きる子の育成」
かしこく(じっくり考え) ゆたかに(思いやりをもって) たくましく(ねばり強い子)

○基礎学力の定着と授業力の向上

○学校課題研究「算数科における学ぶ喜びを味わわせる学習指導の工夫」の一層の深化

＜本年度の学力向上策＞

- 1 基礎学力の定着
 - (1) 日々の教材研究の確実な実施に努める。
 - ・小中相互授業参観や合同研修
 - ・授業の達人等、校内人材の活用
 - (2) 校内授業研究の充実により、授業内容の工夫改善を図る。
 - ・自力解決の時間の確保
 - ・考えの言語化等の表現力の向上
 - ・伝え合いの効果的な活用
 - ・自力解決に必要な既習事項活用スキルの定着
 - (3) 業前(算数タイム)の活用や家庭学習の啓発を通して学力の定着を図る。
- 2 少人数指導教員、スクールアシスタントを活用した個に応じた指導の充実
- 3 学力・学習状況調査等各調査の結果を活用し、指導内容・方法の工夫改善を行う
 - (1) 学力・学習状況調査結果を分析し、研修内容や指導改善に活用する。
 - (2) 「よい授業」集計システムを活用し、指導の工夫改善に生かす。
- 4 落ち着いた学習環境づくり
 - (1) チャイム着席等の学習規律の確立を定着させる。
 - (2) 授業及び教室のユニバーサルデザイン化を進める。
 - (3) 基本的な生活習慣の定着を図る。
- 5 読書活動の推進
 - (1) 児童の読書の習慣化を図る。
 - (2) 読み聞かせや、読書環境の整備により、朝読書の時間の充実を推進する。

＜本年度の振り返り＞

- ・学校課題研究(算数科)を窓口し、授業改善に取り組んだ。学校評価では、「学校の授業は分かりやすい」という質問に対し、肯定的に回答した児童が93%、教員も「よい授業」4つの因子に基づく授業実践や、「基礎・基本」に重点を置いた計画的な授業実践について、89%が肯定的な回答をしている。
- ・親子算数タイムや算数コーナー(目指せ算数マスター、難問クイズ)などを通し授業以外でも算数に触れる機会を設けることで、家庭学習の啓発や意欲の向上を図ることができた。
- ・図書室のリニューアルや、図書ボランティアとの連携、校内読書週間等での読書推進の働きかけを通し、校内全体の読書数が昨年度より増加した。(36,419冊)